

10・23 安倍政権の雇用破壊に 反対する共同アクション 発足・院内集会に参加しよう！

安倍政権は「日本を世界で一番企業が動きやすい国にする」と労働法制の規制緩和を矢継ぎ早に行おうとしている。

前号に報告した派遣法の全面解禁とも言える見直しは8月末に労働政策審議会職業安定分科会労働力需給部会が開催され、月に2回というハイペースで部会が開かれている。

この部会のおかしさは研究会報告をまとめた責任者が、部長となり、さらに公益委員オプザーバーに研究会メンバーが2人も入っていることだ。

加えて労働時間の規制緩和を狙う労働条件分科会も始まり、裁量労働制・フレックスタイム制の要件緩和、残業代ゼロを狙うホワイトカラーエグゼンプション導入などを狙っている。

さらに労働規制を外す「解雇特区」

と報道された経済特区を導入しようとしている。労働規制は労働者が人らしく働く最低基準だ。それをはずすような特区を認めることはできない。

厚労省は労働者のための省庁として労働法制をきっちり守る立場を堅持してほしい。

全労協は中小ネットと共に全労連、MICと一緒に厚労省前で審議会への要請行動を続けている。23日には「安倍政権の雇用破壊に反対する共同アクション」が発足する。是非参加をしていこう。

10・23「安倍政権の雇用破壊に反対する共同アクション」発足・院内集会
10月23日(水) 11時30分～13時

参議院議員会館101号室

11時から通行証をロビーで配布



10・13原発ゼロ 統一行動にたくさんの参加

13日午後から日比谷公会堂での講演会、省庁・東電をめぐるデモ、国会前大集会が取組まれた。

晴天の下、13時には日比谷公会堂の周りは中に入りきれない人々、デモ待機の行列などでいっぱいの人だった。

14時過ぎに集会は終了、デモ開始となったが、たくさんの人々で出発待ちが続いた。再稼働反対！福島の子供を守れ！賠償をきちんと行え！などコールをしながら霞ヶ関、東電前、新橋をめくってデモ解散地点に来てからもこれから東電前へと向かうデモ隊に遭遇、17時からの国会前行動開始時にもデモは続いていた。

国会前行動にもたくさんの人々が参加し、再稼働反対、原発輸出をするな、福島を忘れない等のコールが響いた。



制服向上委員会の「おおスザンナ」の替え歌「おおスザンナ自民党」は大いに受けていた。(柚木)

さようなら原発1000万人アクションHPより

NTT職業病闘争 早期解決へのお願い

81年6月19日、職業病罹病に端を発し、解雇され32年が経過しています。女性委員会の皆様には物心両面のご支援に感謝申し上げます。

NTTを社会的に包囲するため、NTT及び厚労省に対する団体署名の取り組みを始めました。併せて各界から呼びかけ人を募り、多くの著名人、法曹界、医学界、議員等に賛同者になって頂き、加害責任を負うNTT及び大企業の隠ぺい工作に加担した厚労省に職業病の加害責任を迫っていきたいと思います。

頸腕に罹病し、治療対策の一環として交換手の職場から電話局の営業に配転させられ、治療しながら軽減勤務を続けていましたが、職場で理解を得るのは大変厳しいものでした。当局は配転させるときに「今までの職場と同じように、治療しながら働けるから安心して配転して下さい」と言いましました。しかしパワハラ・セクハラのやりたいう放題で、早く職場をやめるといわんばかりの対応で、私は精神的肉体的にもずたずたにされました。当時の主治医の診断書には自殺行為を呈しているとの記載があるほどでした。職場ではダメ人間の烙印が押され、当局からもひどい仕打ちを受けたことは絶対に許すことはできませんでした。

解雇され、裁判所に訴えるまで2年かかった事を振り返ると、職業病の闘いは大変厳しいものと感じています。しかし私は闘ってきたからこそ人間性を取り戻すことができたのだと思っています。闘ってこなかったら、笑顔が取り戻せたかな？と考えてしまいます。

32年の闘いの結実に向け、精一杯の努力をしていく決意です。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

全国一般東京労組NTT関連合同分会
木下 孝子

闘う女たち 大集合！

全労協女性委員会

第23回総会・交流会へ参加を

女性委員通信も200号を発行することができました。今年には「闘う女たち大集合！」をテーマに開催します。みんなで女性たちの闘いを共有化していきますましよう

日時 11月22日(金) 18時半
会場 全水道会館中会議室(水道橋)

フジビ闘争1周年 解雇撤回闘争にご支援を

富士美術印刷（フジビ）子会社の偽装倒産・全員解雇から1年が過ぎました。この間に寄せられた物心両面のご支援に心から感謝いたします。

闘争開始1周年に、東京労組主催「フジビ闘争勝利！9・20決起集会」を荒川区内で開催され、会場溢れる150名余の支援の仲間たちが結集しました。集会では、東京全労協から久保事務局長、東部全労協から岸本議長による連帯の挨拶が行われ、1年間闘い抜いた当該組合員たちは、勝利をめざす固い決意を表明しました。

1年の闘いで、フジビによる子会社の支配と解雇された組合員の使用者責任が鮮明となりました。また、フジビは意図して子会社を破産に追いやり、破産を利用してワンマン社長を批判し、当たり前の組合活動を行う労働組合を嫌悪し、組合つぶしを図ったことが、東京都労働委員会の調査で明らかになっています。

さらに、公正取引委員会では、年間1千万円の値引強要は下請法違反であり、フジビと子会社の取引は、同一企業内取引とみなされると指摘しています。

別会社を理由に、一切話し合いにこじなかつたフジビからの連絡で、本年4月以降3回の事務折衝と2回の会長

JAL控訴審

12月には結審、来春には判決も 10月25日の集會に結集を！

9月12日の客乗裁判に続き9月26日乗員の裁判が行われ、三星乗員組合副委員長と山口乗員原告団長が証言した。

当日は雨の中裁判所前行動が取組まれ、たくさんの傍聴希望者が抽選に並んだ。

三星副委員長は12月末の解雇時点で乗員の削減目標が達成されていたのにその事実を隠し解雇を強行したことを数字を上げて立証、またJALの破たん直後に8つの労組に対して解雇回避策としてワークシェアを行うと言っていたにも拘わらず、苦渋の選択として乗員組合が提案したワークシェアの提案を検討もすることもなく拒否したこと、子会社にJAL本体を退職したパイロットを優先して雇用したにも拘わらず、解雇者に対しては出向・転籍などの人事異動を用いた回避努力もしなかったことをわかりやすく証言した。

次いで山口団長は職種別に削減目標が作られ機長は130名であったこと、解雇時には154名が希望退職に応じていたのに数度にわたり削減目標数字を変えられ、現役乗員委員長や航空連などの役員・経験者を含む活動家を排除するために解雇が強行され、まさに不当労働行為だったことを証言しました。

JAL側の反対尋問は弁護士の研修の場かとまごうほとんど意味の無いものでした。

山口団長には主任弁護人が担当しましたが、本件に関係ない原告団として京都の稲盛邸の訪問や、裁判所前での宣伝時の発言について聞き、裁判長から止められる一幕もありました。

乗員原告団は追加の本人尋問を求め、裁判所は検討するとはしましたが、結局不採用となりました。

この結果客乗裁判は12月24日10時半からの弁論で、乗員裁判は26日午前（時間未定）の弁論で結審が決まりました。



早ければ来春年度内にも判決が予測されます。10月25日のJAL不当解雇撤回・高裁勝利・早期解決を求める大集會に結集しよう。

（柚木）

使関係正常化の4項目を要求してしました。その後、9月20日決起集会当日の事務折衝で、フジビ会長は雇用を拒否して組合との交渉を決裂させてきました。



交渉が行われまし
た。組合
からは、
謝罪・生
活保障・
雇用・労

交渉決裂を受けて、1年間「フジビ闘争対策会議」として当該を支えた労組と地域の仲間たちは、支援共闘会議の陣営を広げること、10月4日の対策会議で決定しました。また、当該は、10月15日から社前座り込みを開始しフジビに争議解決を迫っています。全労協そして女性委員会の皆様のご支援を訴えます。

フジビグループ分会・中原純子

私のお気に入り！

私のお気に入りは湯である。日暮里駅前、某ビジネスホテルのラジウム温泉「三朝（みささ）の湯」である。週末二匹の虎（1950年生まれ）と通うこと五年。ワンコインで一時間～一時間半。身体にまつたりとした湯がからみ、思わずウ～ウツと吠え唸り声を上げ極上至福のひとつときである。



引力には逆らえず、すでに手遅れと重々承知しているものの二匹の虎はこれでもかと垂れた肌を持ち上げマッサージ、パック...と念入りにお手入れ、その合間に政治経済、はたまたオヤジの悪口等々、お喋り三昧、冷え症解消！！格差是正を求め4年半。週末につかる湯は唯一ストレス発散の湯である。

湯を上がる前に一曲「メトロレディーブルース」

（青江美奈の替え歌、全5番まで）

タタッタ、タタタタッあ～～あ～～

母さん呼ばわりされ、あんたを産んだ覚えはないよ！！！！

隣の男湯にガンガン聞こえるように大声で何故かいい声だと感動する私！！？

この歌詞はフィクションではなく日々の実話を元に作られた組合員の叫びであり、なやましく、せつなく、かつ！！元気の出る歌であります。必見、必聴。以上、私のお気に入りでした。

全国一般東京東部労組メトロコマース支部 疋田 節子